

協力率向上に向けた取組

1 制度の周知

項 目	内 容
協力金ポスター・チラシ・リーフレット等	<p>【共通】 民間アイデアを取り入れた、両県共通のポスター、チラシ、リーフレットを作成（ブルーでイメージ統一し、ロゴマークを使用） 主な配布先：登山用品店、旅行代理店、富士山周辺宿泊施設、観光協会、交通機関、道の駅等</p>
ホームページ	<p>【共通】 両県のホームページに加え、富士山世界文化遺産協議会のホームページに協力金の制度、用途等について情報発信 （多言語化、スマートフォン対応）</p>
協力金バナーの作成と拡散	<p>【共通】 上記ホームページに誘導するため、ロゴマークを使用したバナーを作成。 富士登山者が多く閲覧する「富士登山オフィシャルサイト」（環境省）をはじめとしたサイトにバナーを掲載</p> <p>【静岡県】 訪日外国人が多く閲覧する Web サイト「ジャパンガイド」の富士山関連ページに、公式サイト誘導のためのバナー掲載</p>
初心者向け登山雑誌に協力金制度説明を掲載	<p>【静岡県】 H28 『富士山ブック』 H29 『まっふる』 H30 『るるぶ』</p>
五合目に向かう交通機関内での広報	<p>【共通】 路線バス、シャトルバス内での音声案内やDVD放映を実施</p>
ツアーバス会社への協力依頼	<p>【共通】 ・ ツアー客へのチラシ配布 ・ 旅行会社ホームページでの協力金制度紹介、バナー掲載、ツアー客の受付への誘導等</p> <p>【山梨県】 協力金の一括納入制度（H29～）</p>
富士急行の協力	<p>【共通】 富士急ホームページ、富士登山情報冊子に掲載</p>
新聞記事提供	<p>【共通】 夏山シーズン前に、協力金に関する記者提供</p>
その他媒体	<p>【共通】 県公報誌、県のラジオ広報枠での協力金制度紹介</p>

2 現地受付体制等

項目	内容
受付場所の見直し	<p>【共通】登山者の動線を考慮しながら、受付設置場所を見直し</p> <p>【静岡県】登山者の捕捉率を上げるため、受付所を増設</p>
受付時間帯の見直し	<p>【共通】登山者の動向に合わせて受付時間を設定</p>
外国人対応	<p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語等の外国語対応ができる受付員の配置 ・ポータブル翻訳機の活用 <p>【山梨県】外国人専用受付の設置</p>
学生ボランティアの起用	<p>【山梨県】同年代の呼びかけで、若者の協力率向上を狙う</p>
協力金使途の説明	<p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピクトグラムを使用した多言語での協力金使途説明パネルを掲示 <p>【静岡県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受付で写真を使った、協力金充当事業を紹介
協力金使途の見える化	<p>【共通】協力金で購入した物品や、整備した施設に、協力金ロゴマークのついたシールやプレートを貼付</p>
協力金受付への誘導	<p>【静岡県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふじっぴー」の着ぐるみを使った集客 ・富士講風衣装の貸し出しによる集客 <p>【山梨県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登山道付近に冠木門風ゲートを設置 ・ロードサインの敷設
雨の対策	<p>【静岡県】雨よけテントの設置</p> <p>【山梨県】五合目総合管理センター内に臨時受付所を設置</p>
協力者証に関する工夫	<p>【静岡県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協力者証（缶バッジ）に使用した浮世絵を解説する多言語パネルを受付に掲示 ・二ヶ国語（日・英）の解説カード配布 <p>【山梨県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協力者証に県内施設の優待機能を付加 ・協力者証を木札とし、富士山の歴史を意識付け
キャッシュレス受付の導入	<p>【山梨県】クレジットカード・電子マネー等での受付について実証実験を実施（H30 8/1～8/16）</p>
ロゴマーク	<p>【静岡県】</p> <p>受付係員の衣装に協力金ロゴマークを使用 受付ブースでのロゴマーク掲示</p>